

1日目 3月7日 (土)

第1会場 (1F 会議室 101)

9:00 ~ 9:50 主題 I -1 リウマチ・膠原病疾患を可視化する - 画像と分子標的
が拓く診断と病態理解

座長：森 俊輔 (熊本再春医療センター リウマチ科)
川尻 真也 (長崎大学 医療人材連携教育センター)

S1-1-1 抗合成酵素抗体症候群 (ASyS) における間質性肺疾患再燃例の特徴を可視化する

○轟 泰幸^{1,2,3)}、久保智史²⁾、佐藤 実^{3,4)}、上野匡庸²⁾、藤田悠哉²⁾、酒井秀典²⁾、
宮崎佑介²⁾、宮川一平^{1,2)}、田中良哉^{1,2)}、中山田真吾²⁾
産業医科大学 医学部 分子標的治療内科学特別講座¹⁾、
産業医科大学 医学部 第1内科学講座²⁾、産業医科大学 産業保健学部 人間情報科学³⁾、
北九州八幡東病院⁴⁾

S1-1-2 乾癬性関節炎と掌蹠膿疱症性骨関節炎の免疫病態の可視化

○宮川一平^{1,2)}、久保智史²⁾、上野匡庸²⁾、宮崎佑介²⁾、永安 敦²⁾、轟 泰幸^{1,2)}、
神田友梨恵²⁾、藤田悠哉²⁾、酒井秀典²⁾、神田龍一郎²⁾、船田将史²⁾、田中良哉¹⁾、
中山田真吾²⁾
産業医科大学医学部分子標的治療内科学特別講座¹⁾、産業医科大学医学部第1内科学講座²⁾

S1-1-3 関節超音波を用いた血清反応陰性関節炎の鑑別

○藤川敬太¹⁾、松尾巴瑠奈¹⁾、岡本百々子¹⁾、溝上明成¹⁾、川上 純²⁾
JCHO 諫早総合病院リウマチ科¹⁾、
長崎大学医歯薬総合研究科先進予防医学講座リウマチ膠原病学分野 (第一内科)²⁾

S1-1-4 関節リウマチに伴う進行性肺線維症に対する JAK 阻害薬とアバタセプトの有効性と安全性の比較：FIRST registry

○神田龍一郎¹⁾、久保智史¹⁾、宮崎佑介¹⁾、宮川一平^{1,2)}、神田友梨恵¹⁾、轟 泰幸^{1,2)}、
上野匡庸¹⁾、藤田悠哉¹⁾、酒井秀典¹⁾、田中良哉^{1,2)}、中山田真吾¹⁾
産業医科大学医学部第1内科学講座¹⁾、産業医科大学医学部分子標的治療内科学特別講座²⁾

S1-1-5 デジタル技術を活用したリウマチ性疾患の可視化を目指して

○川尻真也¹⁾、野中文陽²⁾、内田智久³⁾、松下雄太³⁾、福井翔一³⁾、川上 純³⁾
長崎大学生命医科学域 医療人材連携教育センター¹⁾、
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 離島・へき地医療学講座 (離島医療研究所)²⁾、
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 リウマチ・膠原病内科学分野³⁾

10:00～10:40 主題 I -2 リウマチ・膠原病疾患を可視化する - 画像と分子標的が拓く
診断と病態理解
座長：石井 宏治（大分赤十字病院）
有信 洋二郎（福岡和白病院 リウマチ・膠原病内科）

S1-2-1 FMFにおける活性型 IL-18 の有用性の検証：発作予測および病態関連サイトカインとの関連

○古賀智裕、福井翔一、友川拓也、原 万怜、遠藤友志郎、辻 良香、川上 純
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科先進予防医学共同専攻リウマチ・膠原病内科学講座

S1-2-2 分子標的治療中関節リウマチにおける骨びらん修復および骨微細構造変化：HR-pQCT 縦断解析

○岩本直樹¹⁾、渡邊航之助²⁾、白石和輝²⁾、千葉 恒²⁾、道辻 徹¹⁾、辻 良香¹⁾、
高谷亜由子¹⁾、福井翔一¹⁾、住吉玲美¹⁾、古賀智裕¹⁾、川尻真也^{1,3)}、井川 敬¹⁾、
玉井慎美¹⁾、折口智樹⁴⁾、尾崎 誠²⁾、川上 純¹⁾
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科先進予防医学共同専攻先進予防医学講座 リウマチ・膠原病内
科学分野¹⁾、
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科整形外科学²⁾、
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科先進予防医学共同専攻 地域医療学分野³⁾、
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻⁴⁾

**S1-2-3 関節リウマチ患者におけるPhase2/3 移行時点の好中球／リンパ球比（NLR）は
その後の関節破壊進行を予測する**

○古賀智裕、原 万怜、古藤世梨奈、内田智久、遠藤友志郎、清水俊匡、高谷亜由子、
福井翔一、川尻真也、川上 純
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科先進予防医学共同専攻リウマチ・膠原病内科学講座

**S1-2-4 成人発症 Still 病におけるトシリズマブからカナキヌマブへの切り替えで制御され
た免疫パスウェイの検討**

○則松希遊、古賀智裕、福井翔一、原 万怜、友川拓也、梅津彩香、内田智久、高谷亜由子、
川上 純
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 先進予防医学共同専攻 リウマチ・膠原病分野

11:20～11:50 肺炎球菌ワクチンに関する教育セッション
座長：右田 清志（聖フランシスコ病院 リウマチ・膠原病内科）
「リウマチ患者における肺炎球菌感染症とワクチンによる予防の
重要性」
演者：関 雅文（埼玉医科大学医学部 国際医療センター感染症科・感染制御科）

12:10～13:10 ランチョンセミナー1

座長：川上 純（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 先進予防医学共同専攻
リウマチ・膠原病内科学分野）

「JAK 阻害薬が拓く Phase II 治療～ウパダシチニブ 153 例の臨
床データより～」

演者：平野 史倫（独立行政法人国立病院機構 旭川医療センター リウマチセンター）
共催：アッヴィ合同会社

13:20～13:35 総会

13:35～13:50 初期研修医優秀賞授賞式

14:00～14:40 主題II -2 グルココルチコイドによる治療の問題点と対策

座長：宮川 一平（産業医科大学 第1内科学講座）
丸山 晓人（佐賀大学医学部附属病院 膜原病・リウマチ内科）

S2-2-1 リウマチ性多発筋痛症におけるグルココルチコイド治療の有害事象について

○折口智樹^{1,2)}、梅田雅孝¹⁾、福井翔一¹⁾、住吉玲美¹⁾、古賀智裕¹⁾、川尻真也¹⁾、
岩本直樹¹⁾、玉井慎美¹⁾、有馬和彦³⁾、川上 純¹⁾
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科リウマチ・膜原病内科学¹⁾、
長崎大学生命医科学域（保健学系）²⁾、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科公衆衛生学³⁾

S2-2-2 巨細胞性動脈炎に対するトリリズマブの長期治療成績：グルココルチコイド中止
は可能か？

○綾野雅宏¹⁾、藤本 翔²⁾、土井吾郎³⁾、西村直矢¹⁾、押領司大助³⁾、桑原綾子⁴⁾、
木本泰孝¹⁾、三苦弘喜³⁾、新納宏昭²⁾
九州大学病院 免疫・膜原病・感染症内科¹⁾、九州大学大学院医学研究院 医学教育学講座²⁾、
九州大学病院別府病院 内科（リウマチ・感染症内科）³⁾、九州大学病院 臨床教育研修センター⁴⁾

S2-2-3 当院におけるリウマチ性多発筋痛症診療におけるグルココルチコイド投与実態の
検討

○鈴木貴久¹⁾、谷川 舞¹⁾、辻 創介¹⁾、川上 純^{1,2)}
日本赤十字社長崎原爆病院¹⁾、長崎大学病院 第一内科²⁾

S2-2-4 寛解達成関節リウマチ患者におけるグルココルチコイド中止達成と関連する因子の探索：FRANK registry

○龍溪智史¹⁾、綾野雅宏¹⁾、名取孝弘²⁾、赤崎幸穂²⁾、近藤正一³⁾、福士純一⁴⁾、
宮村知也⁵⁾、井上 靖⁶⁾、都留智巳⁷⁾、首藤敏秀⁸⁾、吉澤誠司⁹⁾、大石正信¹⁰⁾、
加茂健太¹¹⁾、前山 彰¹²⁾、中島康晴²⁾、新納宏昭^{1,13)}
九州大学病院 免疫・膠原病・感染症内科¹⁾、九州大学病院 整形外科²⁾、
近藤リウマチ・整形外科クリニック³⁾、九州医療センター 整形外科・リウマチ科⁴⁾、
九州医療センター 膠原病内科⁵⁾、福岡赤十字病院 膠原病内科⁶⁾、ピーエスクリニック⁷⁾、
千代田病院 整形外科⁸⁾、浜の町病院 リウマチ・膠原病内科⁹⁾、千早病院 整形外科¹⁰⁾、
山口赤十字病院 整形外科¹¹⁾、福岡大学病院 整形外科¹²⁾、
九州大学大学院 医学研究院 医学教育学講座¹³⁾

15:10～15:50 アフタヌーンセミナー1

座長：赤星 光輝（佐賀大学医学部 膠原病・リウマチ内科）

「アニフロルマブの最新エビデンスからSLEの長期治療戦略を考える」

演者：中山田 真吾（産業医科大学医学部 第1内科学講座）

共催：アストラゼネカ株式会社

16:00～17:00 特別講演

座長：川上 純（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 先進予防医学共同専攻 リウマチ・膠原病内科学分野）

「T細胞のセルフとネオセルフ識別能による自己免疫疾患の発症機構」

演者：荒瀬 尚（大阪大学免疫学フロンティア研究センター）

17:10～18:10 イブニングセミナー1

座長：田中 良哉（産業医科大学 医学部 分子標的治療内科学特別講座）

「臨床的惰性を避けるリウマチ診療」

演者：久保 智史（産業医科大学 医学部 第1内科学講座）

「関節リウマチの長期予後を見据えたバリシチニブによるグルココルチコイド(GC)フリー戦略」

演者：山根 隆志（地方独立行政法人 加古川市民病院機構 加古川中央市民病院 リウマチ・膠原病内科）

共催：日本イーライリリー株式会社

第2会場 (1F 会議室 102)

8:10～8:40 運営委員会

9:00～10:00 初期研修医セッション1

座長：平田 真哉（熊本大学血液・膠原病・感染症内科）
荒牧 俊幸（佐世保中央病院 リウマチ・膠原病センター）

RO1-1 iMCD-NOS の診断から 9 ヶ月後に混合細胞型ホジキンリンパ腫が判明した 1 例

○本田志保¹⁾、辻 創介¹⁾、谷川 舞¹⁾、鈴木貴久¹⁾、澤山 靖²⁾、安倍邦子³⁾、
川上 純^{1,4)}
長崎原爆病院リウマチ・膠原病内科¹⁾、長崎原爆病院血液内科²⁾、長崎原爆病院病理診断科³⁾、
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科先進予防医学共同専攻 リウマチ・膠原病内科学分野⁴⁾

RO1-2 抗 ARS 抗体陽性炎症性筋疾患の経過中に慢性炎症性脱髓性多発神経炎を併発した 1 例

○南 貴映¹⁾、久保智史¹⁾、神田龍一郎¹⁾、大成佳奈²⁾、宮川一平^{1,3)}、宮崎佑介¹⁾、
神田友梨恵¹⁾、轟 泰幸^{1,3)}、上野匡庸¹⁾、藤田悠哉¹⁾、酒井秀典¹⁾、山本 燐²⁾、
中山田真吾¹⁾
産業医科大学医学部第 1 内科学講座¹⁾、産業医科大学医学部神経内科学講座²⁾、
産業医科大学医学部分子標的治療内科学特別講座³⁾

RO1-3 ベリムマブが奏効した SLE 関連赤芽球瘻の一例

○宮田梨緒¹⁾、小山詩絵²⁾、岩尾千紘²⁾、栗原 淳²⁾、和田明香里²⁾、日高伸彦²⁾、
工藤理紗²⁾、村井優之²⁾、木村賢俊²⁾、岩尾浩昭²⁾、川口 剛²⁾、松田基弘²⁾、
宮内俊一²⁾、梅北邦彦²⁾
宮崎大学医学部付属病院 卒後臨床研修センター¹⁾、宮崎大学医学部付属病院 膜原病内科²⁾

RO1-4 発症早期に FDG-PET/CT で肺病変を捉えた皮膚筋炎の一例

○香川拓美¹⁾、西畠伸哉²⁾、白髭浩之²⁾、庄村史子²⁾、荒武弘一朗²⁾、永田芽生³⁾、
川上 純⁴⁾
嬉野医療センター 教育研修部¹⁾、嬉野医療センター リウマチ科²⁾、嬉野医療センター 総合診療科³⁾、
長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科先進予防医学共同専攻 リウマチ・膜原病内科⁴⁾

RO1-5 不明熱、急性唾液腺炎、胆嚢漿膜下浮腫、急性脾炎を呈し、MEFV 遺伝子関連腸炎が疑われた一例

○糸長俊介¹⁾、安部 佑¹⁾、吉田大史¹⁾、上原 悠²⁾、新貝祐太³⁾、清永恭弘¹⁾、
高橋晴彦²⁾、尾崎貴士³⁾、石井宏治¹⁾、柴田洋孝³⁾
大分赤十字病院リウマチ科¹⁾、大分赤十字病院消化器内科²⁾、
大分大学医学部内分泌代謝膜原病腎臓内科学講座³⁾

RO1-6 胸膜炎で発症した顕微鏡的多発血管炎の一例

○前田康文¹⁾、岡田覚丈¹⁾、和泉泰衛¹⁾、岩永 希¹⁾、川上 純²⁾
長崎医療センターリウマチ科・総合診療科¹⁾、
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科先進予防医学共同専攻 リウマチ・膠原病内科学分野²⁾

10:05～10:55 初期研修医セッション2

座長：右田 清志（聖フランシスコ病院 リウマチ膠原病内科）
井上 靖（福岡赤十字病院 膜原病内科）

RO2-1 大量ステロイド・シクロスボリン・トシリズマブに不応でリツキシマブにより改善したTAFRO症候群の1例

○堤 友輔、佐川文彬、河野正太郎、吉澤誠司
浜の町病院 リウマチ・膜原病内科

RO2-2 麻痺性イレウスを呈しメボリズマブ併用で改善した好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の1例

○森 梨乃¹⁾、栗原 淳²⁾、小山詩絵²⁾、日高伸彦²⁾、和田明香里²⁾、工藤理紗²⁾、
木村賢俊²⁾、村井優之²⁾、岩尾千絵²⁾、力武雄幹²⁾、岩尾浩昭²⁾、川口 剛²⁾、
松田基弘²⁾、宮内俊一²⁾、梅北邦彦²⁾
宮崎大学医学部附属病院 卒後臨床研修センター¹⁾、宮崎大学医学部附属病院 膜原病内科²⁾

RO2-3 難治性経過と日和見感染症を反復した抗シトルリン化ペプチド抗体陽性成人Still病の超高齢例

○林 嘉欣¹⁾、前田妃奈¹⁾、喜瀬杏奈¹⁾、橋本頼和¹⁾、中西研輔¹⁾
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター¹⁾

RO2-4 粘液性網膜剥離を来した全身性エリテマトーデスの一例

○根間恒太朗¹⁾、川上瑛子¹⁾、松下雄太¹⁾、古藤世梨奈^{1,2)}、梅津彩香¹⁾、辻 良香¹⁾、
遠藤友志郎¹⁾、福井翔一¹⁾、梅田雅孝¹⁾、住吉玲美¹⁾、井川 敬¹⁾、平田佑妃³⁾、
大石明生³⁾、川上 純¹⁾
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科先進予防医学共同専攻リウマチ・膜原病内科学分野¹⁾
社会医療法人財団白十字会佐世保中央病院リウマチ・膜原病センター²⁾、
長崎大学病院眼科³⁾

RO2-5 中枢性尿崩症を合併した顕微鏡的多発血管炎の一例

○大西純司¹⁾、副島幸子²⁾、野田亮介²⁾、小荒田秀一^{2,4)}、三角優莉菜³⁾、竹野 歩³⁾、
多田芳史^{2,4)}
高邦会高木病院¹⁾、高邦会高木病院リウマチ膜原病センター²⁾、高邦会高木病院内分泌糖尿病内科³⁾、
国際医療福祉大学福岡保険医療学部⁴⁾

11:00～11:50 主題Ⅱ-1 グルココルチコイドによる治療の問題点と対策

座長：梅北 邦彦（宮崎大学医学部附属病院 膜原病内科）

藤川 敬太（JCHO 諫早総合病院 リウマチ科）

S2-1-1 活動性ループス腎炎におけるベリムマブのグルココルチコイド減量効果と安全性

—LOOPS registry より

○酒井秀典¹⁾、久保智史¹⁾、宮崎佑介¹⁾、宮川一平²⁾、轟 泰幸²⁾、神田友梨恵¹⁾、
上野匡庸¹⁾、藤田悠哉¹⁾、神田龍一郎¹⁾、田中良哉²⁾、中山田真吾¹⁾

産業医科大学医学部第1内科学講座¹⁾、産業医科大学医学部分子標的治療内科学特別講座²⁾

S2-1-2 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症(EGPA)におけるGC関連有害事象の軽減を目指したメポリズマブ(MPZ)療法の検討

○上野匡庸¹⁾、久保智史¹⁾、宮川一平^{1,2)}、宮崎佑介¹⁾、田中宏明¹⁾、轟 泰幸¹⁾、
神田友梨恵¹⁾、藤田悠哉¹⁾、神田龍一郎¹⁾、酒井秀典¹⁾、田中良哉^{1,2)}、中山田真吾¹⁾
産業医科大学 第1内科学講座¹⁾、産業医科大学 分子標的治療内科学特別講座²⁾

S2-1-3 LLDAS未達成SLE患者に対するアニフロルマブのグルココルチコイド漸減効果の検討 -LOOPS registry-

○松永五月¹⁾、久保智史¹⁾、宮崎佑介¹⁾、大久保直紀³⁾、船田将史¹⁾、宮川一平^{1,2)}、
神田友梨恵¹⁾、田中宏明¹⁾、轟 泰幸^{1,2)}、上野匡庸¹⁾、藤田悠哉¹⁾、神田龍一郎¹⁾、
田中良哉²⁾、中山田真吾¹⁾

産業医科大学医学部 第1内科学講座¹⁾、産業医科大学医学部 分子標的治療内科学特別講座²⁾、
産業医科大学産業生態科学研究所 環境疫学研究室³⁾

S2-1-4 当院リウマチ性疾患患者の続発性骨粗鬆症に対するデノスマブの継続率とその中止事由についての検討

○荒牧俊幸¹⁾、重橋 隆¹⁾、古藤世梨奈¹⁾、小島加奈子¹⁾、高谷亜由子²⁾、寺田 錦¹⁾、
江口勝美¹⁾、植木幸孝¹⁾、岩本直樹²⁾、川上 純²⁾
白十字会 佐世保中央病院 リウマチ・膜原病センター¹⁾、
長崎大学大学院 医師薬学総合研究科 先進予防医学共同専攻 リウマチ・膜原病内科学²⁾

S2-1-5 Glucocorticoid投与を行わないSLE治療の経験

○都留智巳¹⁾、洲崎みどり¹⁾、長嶺隆二²⁾、原中美環³⁾、中島 衡¹⁾
医療法人相生会ピーエスクリニック¹⁾、長嶺リウマチ整形外科クリニック²⁾、
医療法人合気会博多クリニック³⁾

12:10～13:10 ランチョンセミナー2

座長：古賀 智裕（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 先進予防医学共同専攻 リウマチ・膠原病内科学分野）

新納 宏昭（九州大学 大学院医学研究院 医学教育学講座）

「クライオ電子顕微鏡が解き明かす、オゾラリズマブの複合体構造」

演者：田中 良和（東北大学大学院生命科学研究科 分子化学生物学専攻 応用生命分子解析分野）

「関節リウマチ治療 Up to Date～オゾラリズマブの新たな知見を含めて～」

演者：土橋 浩章（香川大学医学部附属病院 膜原病・リウマチ内科）

共催：大正製薬株式会社

14:00～14:48 一般演題4 血管炎

座長：中村 真隆（国立病院機構 九州医療センター）

福井 翔一（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 リウマチ・膜原病内科学分野）

O4-1 メポリズマブ単剤加療中に再燃し、ベンラリズマブ変更のみで改善した好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の一例

○今峰賢汰¹⁾、久保智史¹⁾、日下勝秀¹⁾、宮川一平¹⁾、轟 泰幸²⁾、神田友梨恵²⁾、
上野匡庸¹⁾、藤田悠哉¹⁾、船田将史¹⁾、神田龍一郎¹⁾、酒井秀典¹⁾、中山田真吾¹⁾
産業医科大学医学部 第1内科学講座¹⁾、産業医科大学医学部 分子標的治療内科学特別講座²⁾

O4-2 びまん性筋膜炎と鑑別を要した結節性多発動脈炎の1例

○野原大嗣¹⁾、久保智史¹⁾、上野匡庸¹⁾、宮川一平^{1,2)}、轟 泰幸^{1,2)}、神田友梨恵¹⁾、
藤田悠哉¹⁾、神田龍一郎¹⁾、酒井秀典¹⁾、名和田彩^{1,3)}、中山田真吾¹⁾
産業医科大学医学部 第1内科学講座¹⁾、産業医科大学医学部 分子標的治療内科学講座²⁾、
産業医科大学医学部 第1病理学講座³⁾

O4-3 ST合剤予防内服継続の有無によるAAV患者転帰の比較検討

○小野 伸之^{1,2)}、甲斐 達也²⁾、井上 靖³⁾、上田 尚靖⁴⁾、大塚 恭子⁵⁾、宮村 知也⁶⁾、
内野 愛弓⁷⁾、吉澤 誠司⁸⁾、澤部 琢哉⁹⁾、大田 俊一郎¹⁰⁾、三嶋 耕司¹¹⁾、
三宅 勝久¹²⁾、丸山 晓人¹³⁾、多田 芳史^{13,14)}、堀内 孝彦¹⁾、新納 宏昭^{2,15)}
福岡市民病院リウマチ・膜原病内科¹⁾、九州大学病院免疫膜原病感染症内科²⁾、
福岡赤十字病院リウマチ内科³⁾、県立宮崎病院内科⁴⁾、九州鉄道記念病院リウマチ科⁵⁾、
国立九州医療センター膜原病内科⁶⁾、飯塚病院膜原病・リウマチ内科⁷⁾、
浜の町病院膜原病リウマチ内科⁸⁾、広島赤十字・原爆病院リウマチ科⁹⁾、
下関市立市民病院リウマチ・膜原病内科¹⁰⁾、松山赤十字病院リウマチ膜原病センター¹¹⁾、
福岡大学病院腎臓・膜原病内科¹²⁾、佐賀大学医学部附属病院膜原病・リウマチ内科¹³⁾、
高木病院リウマチ・膜原病内科¹⁴⁾、九州大学医学研究院 医学教育学講座¹⁵⁾

O4-4 リツキシマブとアバコパンを併用し定期グルココルチコイドを使用せずに治療し
得た顕微鏡的多発血管炎の二例

○中山恭兵¹⁾、甲斐達也¹⁾、齋藤智晴¹⁾、藤本 翔²⁾、西村直矢¹⁾、桑原綾子¹⁾、

綾野雅宏¹⁾、木本泰孝¹⁾、新納宏昭²⁾

九州大学病院 免疫膠原病感染症内科¹⁾、九州大学大学院医学研究院 医学教育学講座²⁾

O4-5 左頬部病変を伴った ANCA 関連血管炎の 1 例

○鈴木 守¹⁾、内田智久²⁾、川上瑛子²⁾、友川拓也²⁾、大塚瑞奈²⁾、井川 敬²⁾、
川上 純²⁾

長崎大学病院総合感染症科¹⁾、

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科先進予防医学共同専攻リウマチ・膠原病内科学分野²⁾

O4-6 ベンラリズマブが有効と考えられた難治性好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の 1 例

○小峯豪心、丸山暁人、才田正義、小松実樹也、前田 翼、堺真梨子、竹山悠希子、
赤星光輝

佐賀大学医学部附属病院 膜原病・リウマチ内科

15:10 ~ 15:50 アフタヌーンセミナー 2

座長：古賀 智裕（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 先進予防医学共同専攻 リウマチ・膜原病内科学分野）

「成人発症 Still 病の診断と治療アップデート — IL-1 β 阻害を中心 —」

演者：桐野 洋平（横浜市立大学大学院医学研究科 幹細胞免疫制御内科学）

共催：ノバルティスファーマ株式会社

17:10 ~ 18:10 イブニングセミナー 2

座長：福士 純一（九州医療センター 整形外科・リウマチ科）

「関節リウマチ診療における関節エコーのアンメットニーズとその攻略の試み」

演者：谷村 瞬（北海道内科リウマチ科病院）

「関節エコーで切り開く関節リウマチ類似疾患の鑑別 — みえるからわかる、わかるからできる —」

演者：原 良太（奈良県立医科大学 リウマチセンター）

共催：アステラス製薬株式会社

第3会場 (1F 会議室 103)

9:00～9:48 一般演題1 SLE・シェーグレン病

座長：三苦 弘喜 (九州大学病院別府病院 内科)

梅田 雅孝 (長崎大学病院 医療教育開発センター 長崎医療人育成室
(N-MEC) 済生会長崎病院支部)

O1-1 貧血を契機に診断に至った高齢発症全身性エリテマトーデスの2症例

○岡田覚丈¹⁾、岩永 希¹⁾、和泉泰衛²⁾、川上 純³⁾

長崎医療センター 膜原病・リウマチ内科¹⁾、長崎医療センター 総合診療科²⁾、
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科先進予防医学共同専攻リウマチ・膜原病内科学分野³⁾

O1-2 シェーグレン病患者の口腔環境（歯の健康、歯ぐきの健康、口腔清潔度）と口腔水分量、口腔ケアの実態

○松浦江美¹⁾、堀川新二^{2,3)}、浜崎美和¹⁾、折口智樹¹⁾

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 保健学専攻¹⁾、聖マリア学院大学 看護学部²⁾、
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 医療科学専攻³⁾

O1-3 移動性肺陰影と血清学的異常を契機に診断が示唆され、後にSLE・シェーグレン病と確定した1例

○喜瀬杏奈、橋本頼和、中西研輔

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター

O1-4 L i - F r a u m e n i 症候群に合併した全身性エリテマトーデスの1例

○中野佑亮、古賀琢眞、石和望愛、福田裕大、水江玲子、荒木ちひろ、海江田信二郎、
井田弘明、星野友昭

久留米大学膜原病内科

O1-5 体重減少が主徴であった Sjogren 病の一例

○塚田敏昭¹⁾、宮崎洋一²⁾

愛野記念病院 リウマチ科¹⁾、愛野記念病院 整形外科²⁾

O1-6 妊娠中に全身性エリテマトーデスが増悪し、妊娠継続が困難であった一例

○與那覇匡、矢野裕之、金城光代

沖縄県立中部病院 総合内科

10:00～10:40 一般演題2 全身性強皮症・筋炎

座長：大坪 秀雄 (鹿児島赤十字病院 リウマチ・膜原病センター)

多田 芳史 (医療法人社団高邦会 高木病院 リウマチ・膜原病内科)

O2-1 脳梗塞、自己免疫性筋炎を併発した抗CCCSA1抗体、抗eIF2B抗体陽性の全身性強皮症

○中根知美、矢野裕之、金城光代

沖縄県立中部病院 総合内科

O2-2 片側眼瞼浮腫によって抗 SRP 抗体陽性免疫介在性壞死性ミオパチー (IMNM) の診断に至った一例

○川西康介、矢野裕之、金城光代

沖縄県立中部病院 総合内科

O2-3 早期肺動脈性肺高血圧症、運動誘発性肺高血圧症 (EIPH) 合併全身性硬化症に対する免疫抑制療法の有効性

○日下勝秀¹⁾、久保智史¹⁾、宮川一平²⁾、宮崎佑介¹⁾、神田友梨恵¹⁾、轟 泰幸²⁾、上野匡庸¹⁾、藤田悠哉¹⁾、酒井秀典¹⁾、松永五月¹⁾、田中良哉²⁾、瀬戸山航史³⁾、片岡雅晴³⁾、中山田真吾¹⁾

産業医科大学医学部 第1内科学講座¹⁾、産業医科大学医学部 分子標的治療内科学特別講座²⁾、産業医科大学医学部 第2内科学講座³⁾

O2-4 幼少期に発症した乾癬に合併した抗 Ro52 抗体陽性皮膚筋炎の一例

○安部丈太郎、中西研輔

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター

O2-5 蜂窓織炎治療後に四肢の浮腫・疼痛を来たした皮膚筋炎の一例

○猿渡佐也子¹⁾、下津奈央²⁾、船元源太¹⁾、永山宗太郎¹⁾、中村大悟¹⁾、伊藤貴祥¹⁾、大保 舞¹⁾、伊藤加菜絵¹⁾

今村総合病院 膜原病・リウマチ内科¹⁾、今村総合病院 救急総合内科²⁾

11:00～11:48 一般演題3 自己炎症性疾患・血管炎

座長：井田 弘明（久留米大学医学部呼吸器・神経・膜原病内科）

古賀 智裕（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 リウマチ・膜原病内科学分野）

O3-1 当科における家族性地中海熱患者 51 例の検討

○井田弘明、日高由紀子、吉田直実

久留米大学医学部 呼吸器神経膜原病内科

O3-2 グルココルチコイド漸減困難でルキソリチニブを使用した VEXAS 症候群の一例

○川上瑛子¹⁾、内田智久¹⁾、鈴木 守²⁾、友川拓也¹⁾、大塚瑞奈¹⁾、高谷亜由子¹⁾、井川 敬¹⁾、田口正剛³⁾、古賀智裕¹⁾、川上 純¹⁾

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科先進予防医学共同専攻リウマチ・膜原病内科学分野¹⁾、長崎大学病院総合感染症科²⁾、長崎大学病院血液内科³⁾

O3-3 抗 TNF 製剤が有効であったグルココルチコイド治療抵抗性 Sweet 病の一例

○今井絵利華、中村真隆、吉玉健斗、田中孝典、増田 徹、石田素子、中嶋恵理子、

高濱宗一郎、南 留美、宮村知也

九州医療センター

O3-4 川崎病症状を呈した全身型若年性特発性関節炎 /Still 病の一例
○大津幸穂¹⁾、峰松伸弥¹⁾、尾形善康¹⁾、溝口ゆかり¹⁾、渕上真穂¹⁾、熊本愛子²⁾、
横山 梓²⁾、松尾宗明¹⁾
佐賀大学医学部附属病院小児科¹⁾、佐賀県医療センター好生館²⁾

O3-5 アダリムマブで寛解中のクローノン病に発症した高安動脈炎に対して、ウステキヌマブを導入した一例
○兒島祐希、内藤 敦、上田尚靖、田中弦一、眞柴晃一
宮崎県立宮崎病院 内科

O3-6 EGPA 関連多発単神経炎に対する理学療法の 1 症例報告
○尾上壮一郎¹⁾、宮村智裕²⁾、高岡宏和³⁾、村井裕輔¹⁾
医療法人創起会 くまもと森都総合病院 医療技術部 リハビリテーション科¹⁾、
医療法人創起会 くまもと森都総合病院 総合診療科²⁾、
医療法人創起会 くまもと森都総合病院 リウマチ・膠原病内科³⁾

12:10～13:10 ランチョンセミナー3
座長：藤川 敬太 (JCHO 諫早総合病院 リウマチ科)
「IL-6 を制する者が RA を制す～治療抵抗性への挑戦～」
演者：渡部 龍 (大阪公立大学大学院医学研究科 膠原病内科学)
「発売 7 年間の実臨床医からみたサリルマブの実力」
演者：植木 幸孝 (佐世保中央病院 リウマチ・膠原病センター)
共催：旭化成ファーマ株式会社

14:00～14:48 一般演題 5 リウマチ性疾患・その他 1
座長：岩永 希 (国立病院機構 長崎医療センター)
尾崎 貴士 (大分大学医学部内分泌代謝・膠原病・腎臓内科学講座)

O5-1 両側大腿骨に発症したビスホスホネート製剤関連非定型骨骨折の 1 例
○永田浩之、田村峻也
医療法人徳洲会和泉市立総合医療センター

O5-2 当院過去 1 年間に受診した総症例における低尿酸血症症例の検討
○織部 元廣
明野中央病院

O5-3 NIPPV により症状改善した再発性多発軟骨炎の一例
○増田 徹、石田素子、中村真隆、吉玉健人、今井絵利華、田中孝典、高濱宗一郎、
中嶋恵理子、南 留美、宮村知也
NHO 九州医療センター 膠原病内科

O5-4 感染性心内膜炎と鑑別を要した薬剤誘発性血球貪食症候群の一例
○宮村圭祐、日浦惇貴、山内雄介、内野愛弓
飯塚病院

O5-5 エトレチナート内服で両橈尺骨間の異所性骨化と軸性脊椎関節炎様の骨硬化を
生じた乾癬性関節炎の1例

○宮城拓也、山口さやか、柳 輝希、高橋健造
琉球大学皮膚科

O5-6 抗IL-23抗体が奏功した掌蹠膿胞症性骨関節炎(PAO)の一例

○右田清志¹⁾、浅野智之²⁾、松本聖樹²⁾、川上 純³⁾
聖フランシスコ病院 リウマチ膠原病内科¹⁾、福島県立医大 リウマチ膠原病内科²⁾、
長崎大学病院 リウマチ膠原病内科³⁾

15:10～15:50 アフタヌーンセミナー3

座長：綾野 雅宏（九州大学病院 免疫・膠原病・感染症内科）
「膠原病に伴う間質性肺疾患に対する早期治療の重要性～診療指
針2025を踏まえて～」
演者：柳原 豊史（福岡大学病院呼吸器内科）
共催：日本ベーリンガーイングルハイム株式会社

17:10～18:10 イブニングセミナー3

座長：植木 幸孝（社会医療法人白十字会 佐世保中央病院 リウマチ・膠原
病センター）
「最新の実臨床下のエビデンスから見るRA患者に対するIL-6阻
害剤の有効性と安全性：FIRST registryより」
演者：宮崎 佑介（産業医科大学医学部第1内科学講座）
「巨細胞性動脈炎の最新治療戦略～治療目標の設定と薬剤選択の
実際～」
演者：綾野 雅宏（九州大学病院 免疫・膠原病・感染症内科）
共催：中外製薬株式会社

2日目 3月8日(日)

第1会場 (1F 会議室101)

8:30~9:30	モーニングセミナー1 座長:川尻 真也 (長崎大学生命医科学域 医療人材連携教育センター／長崎大学病院 リウマチ・膠原病内科) 「RA治療におけるメトトレキサート再考 一皮下注射製剤がもたらす治療戦略の変化ー」 演者:池田 啓 (獨協医科大学 リウマチ・膠原病内科) 共催:エーザイ株式会社
-----------	---

9:40~10:40	主題Ⅲ リウマチ・膠原病患者の周術期管理・術後合併症をめぐる現状と課題 座長:千葉 恒 (長崎大学病院 医歯薬学総合研究科 整形外科) 前山 彰 (福岡大学 整形外科)
------------	--

S3-1 関節リウマチ前足部手術における創傷治癒遅延の危険因子と栄養状態の関与

- 山口亮介¹⁾、津嶋秀俊²⁾、藤原稔史¹⁾、赤崎幸穂¹⁾、倉員市郎¹⁾、安元慧多朗¹⁾、
名取孝弘¹⁾、杉田敏明¹⁾、河村正太郎¹⁾、井上 光¹⁾、中島康晴¹⁾
九州大学整形外科¹⁾、福岡県済生会八幡総合病院整形外科²⁾

S3-2 リウマチ足趾形成術における課題—創傷治癒遅延への対策—

- 福士純一^{1,2)}、木村 敦¹⁾、櫻庭康司¹⁾、戸次大史¹⁾、田丸哲弥¹⁾、緒方亞紀¹⁾、
徳永 修¹⁾
九州医療センター 整形外科・リウマチ科¹⁾、九州医療センター 臨床研究センター²⁾

S3-3 関節リウマチ患者における人工膝関節周囲骨折の現状

- 木村太一、櫻庭康司、戸次大史、木村 敦、田丸哲弥、緒方亞紀、徳永 修、山手智志、
稻富 健、諸岡 郁、井上 光、福士純一
九州医療センター 整形外科リウマチ科

S3-4 関節リウマチ患者の整形外科手術におけるJAK阻害薬24時間休薬と周術期アウトカム

- 戸次大史¹⁾、櫻庭康司¹⁾、中島康晴²⁾、福士純一¹⁾
国立病院機構九州医療センター¹⁾、九州大学病院²⁾

S3-5 リウマチ・膠原病患者の周術期における骨粗鬆症の評価と治療

- 千葉 恒、白石和輝、下永吉洋平、本川哲比古、尾崎 誠
長崎大学病院 医歯薬学総合研究科 整形外科

S3-6 関節リウマチ患者における人工膝関節感染の治療選択と課題

○白石和輝、千葉 恒、下永吉洋平、本川哲比古、尾崎 誠
長崎大学病院 整形外科

11:00～12:12 主題IV-2 膜原病・リウマチ診療の選択 症例から考える

座長：岩本 直樹（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 リウマチ・膜原病内科学分野）
上野 匡庸（産業医科大学医学部 第1内科学講座）

S4-2-1 経過中に不明熱を呈した血清反応陰性関節リウマチの症例

○吉玉健人、今井絵利華、田中孝典、増田 徹、中村真隆、石田素子、高濱宗一郎、
中嶋恵理、南 留美、宮村知也
NHO 九州医療センター

S4-2-2 左下垂足を認めた強直性脊椎炎の1例

○松尾巴瑠奈¹⁾、岡本百々子¹⁾、藤川敬太¹⁾、溝上明成¹⁾、川上 純²⁾
JCHO 諫早総合病院 リウマチ科¹⁾、
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科先進予防医学共同専攻 リウマチ・膜原病内科学分野²⁾

S4-2-3 傍椎体病変を伴ったMPO-ANCA陽性の症例

○岡本百々子¹⁾、藤川敬太¹⁾、松尾巴瑠奈¹⁾、溝上明成¹⁾、川上 純²⁾
JCHO 諫早総合病院リウマチ科¹⁾、
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科先進予防医学共同専攻リウマチ・膜原病内科学分野²⁾

S4-2-4 血清学反応陰性関節リウマチ治療中に腸間膜脂肪織混濁と多発皮下腫瘍を呈した1例

○丸山暁人、才田正義、小松実樹也、小峯豪心、前田 翼、堺真梨子、竹山悠希子、
赤星光輝
佐賀大学医学部附属病院 膜原病・リウマチ内科

S4-2-5 関節リウマチの両手示指～小指 MP関節屈曲拘縮とPIP伸展拘縮に対する手術

○吉原由樹¹⁾、西山 進²⁾
倉敷成人病センター 整形外科¹⁾、倉敷成人病センター リウマチ・膜原病センター²⁾

S4-2-6 感染症を契機に側頭筋炎を発症した1例

○田中孝典、石田素子、今井絵利華、吉玉健人、増田 徹、中村真隆、高濱宗一郎、
中嶋恵理子、南 留美、宮村知也
NHO 九州医療センター 膜原病内科

12:30～13:30 ランチョンセミナー4

座長：岩本 直樹（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 先進予防医学共同専攻 リウマチ・膠原病内科学分野）

宮川 一平（産業医科大学医学部 分子標的治療内科学特別講座）

「RF 値を意識したリウマチ診療～生物学的製剤選択の観点より～」

演者：千藤 荘（神戸大学医学部附属病院 検査部／膠原病リウマチ内科）

「臨床試験と最新アップデートから考える IL-17A/F 阻害の SpA 治療戦略」

演者：川合 聰史（聖路加国際病院 Immuno-Rheumatology Center）

共催：ユーシービージャパン株式会社

第2会場 (1F 会議室 102)

8:30 ~ 9:30	モーニングセミナー2
	座長：岩本 直樹（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 先進予防医学共同専攻 リウマチ・膠原病内科学分野）
「バイオシミラーとは—バイオシミラーの基礎と臨床—」	
	演者：平田 信太郎（広島大学病院 リウマチ・膠原病科）
	共催：あゆみ製薬株式会社

9:40 ~ 10:52	主題IV-1 膜原病・リウマチ診療の選択 症例から考える
	座長：綾野 雅宏（九州大学病院 免疫・膜原病・感染症内科）
	遠藤 友志郎（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 リウマチ・膜原病内科学分野）

S4-1-1 硬くなる皮膚、その正体は？

- 中村 正¹⁾、吉永 健²⁾、西田佳子³⁾、本多靖洋⁴⁾、松木泰憲⁵⁾
桜十字病院 リウマチ膜原病内科¹⁾、桜十字病院 呼吸器内科²⁾、桜十字病院 代謝内科³⁾、
本多医院 リウマチ科⁴⁾、桜十字八代リハビリテーション病院 内科・リウマチ科⁵⁾

S4-1-2 首下がりを呈した悪性関節リウマチの一例

- 沢田 路¹⁾、久保智史¹⁾、轟 泰幸^{1,2)}、宮川一平^{1,2)}、上野匡庸¹⁾、藤田悠哉¹⁾、
神田龍一郎¹⁾、酒井秀典¹⁾、田中良哉^{1,2)}、中山田真吾¹⁾
産業医科大学 第1内科学講座¹⁾、産業医科大学 分子標的治療内科学講座²⁾

S4-1-3 複視を契機に外転神経麻痺と診断され、難治性頭痛もきたした1例

- 安藤 雅¹⁾、久保智史¹⁾、松永五月¹⁾、宮川一平²⁾、轟 泰幸²⁾、神田友梨恵¹⁾、
上野匡庸¹⁾、藤田悠哉¹⁾、神田龍一郎¹⁾、中山田真吾¹⁾
産業医科大学 第1内科学¹⁾、産業医科大学 分子標的治療内科学²⁾

S4-1-4 ウパダシチニブ治療抵抗性の関節リウマチ(RA)合併特発性炎症性筋疾患(IIM)の一例

- 西本茉由¹⁾、久保智史¹⁾、轟 泰幸^{1,2)}、宮川一平^{1,2)}、上野匡庸¹⁾、藤田悠哉¹⁾、
神田龍一郎¹⁾、酒井秀典¹⁾、田中良哉^{1,2)}、中山田真吾¹⁾
産業医科大学医学部 第1内科学講座¹⁾、産業医科大学医学部 分子標的治療内科学特別講座²⁾

S4-1-5 体軸および末梢の痛みに嚥下困難感を伴った40代女性

- 首藤敏秀^{1,2)}、鈴木周一¹⁾、福田 一¹⁾、鳥取部光司^{1,3)}
千代田病院整形外科¹⁾、リウマチ科²⁾、リハビリテーション科³⁾

S4-1-6 痛みを伴う胸鎖関節周囲の腫脹、胃痛を認めた1例

○日高由紀子¹⁾、吉田直実¹⁾、山口真紀²⁾、長藤宏司²⁾、井田弘明¹⁾
久留米大学医学部呼吸器神経膠原病内科¹⁾、久留米大学医学部血液腫瘍内科²⁾

11:00～12:12 主題IV-3 膠原病・リウマチ診療の選択 症例から考える

座長：赤星 光輝（佐賀大学医学部 膠原病・リウマチ内科）
高岡 宏和（くまもと森都総合病院）

S4-3-1 4ヶ月まえからの両肩挙上困難と体重減少をきたした59歳男性

○金城光代、矢野裕之
沖縄県立中部病院

S4-3-2 急性発症の右上肢痛と後頸部痛を呈した50歳代女性

○岡本莉佳¹⁾、金城光代²⁾
沖縄県立宮古病院¹⁾、沖縄県立中部病院²⁾

S4-3-3 発熱、関節痛、皮疹、抗核抗体陽性で紹介された10代女性の1例

○宮村智裕^{1,2)}、高岡宏和²⁾、濱 諒輔¹⁾、吉田知栄子^{1,3)}
くまもと森都総合病院 総合診療科¹⁾、くまもと森都総合病院 リウマチ膠原病内科²⁾、
くまもと森都総合病院 呼吸器内科³⁾

S4-3-4 2ヶ月の繰り返す肉眼的血尿を呈した80歳代女性

○藤堂美咲¹⁾、徳田暁拓¹⁾、崎山広大¹⁾、芝池庸仁²⁾、矢野裕之¹⁾、金城光代¹⁾
沖縄県立中部病院総合内科¹⁾、沖縄県立中部病院腎臓内科²⁾

S4-3-5 骨破壊を伴う多発骨軟部腫瘍の一例

○梅津彩香¹⁾、川上瑛子¹⁾、住吉玲美¹⁾、井川 敬¹⁾、黒濱大和²⁾、川上 純¹⁾
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科先進予防医学共同専攻 リウマチ・膠原病内科学分野¹⁾、
長崎大学原爆後障害医療研究所²⁾

S4-3-6 関節リウマチ治療中に子宮頸部腫瘍、多発肺結節を生じ鑑別を要した1例

○田中宏明¹⁾、久保智史¹⁾、藤田悠哉¹⁾、宮川一平^{1,2)}、轟 泰^{1,2)}、神田友梨恵¹⁾、
上野匡庸¹⁾、神田龍一郎¹⁾、船田将史¹⁾、酒井秀典¹⁾、田中良哉^{1,2)}、中山田真吾¹⁾
産業医科大学医学部第1内科学講座¹⁾、産業医科大学医学部分子標的治療内科学講座²⁾

12:30～13:30 ランチョンセミナー5

座長：梅北 邦彦（宮崎大学医学部内科学講座 呼吸器・膠原病・感染症・脳
神経内科学分野）

「ANCA関連血管炎治療の新時代：グルココルチコイド（GC）
フリーへの挑戦」

演者：宮崎 佑介（産業医科大学医学部 第1内科学講座）

共催：キッセイ薬品工業株式会社

第3会場 (1F 会議室 103)

8:30 ~ 9:30	モーニングセミナー3
	座長：川上 純（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 先進予防医学共同専攻 リウマチ・膠原病内科学分野）
「日本のリウマチ診療におけるバイオシミラーの現状と期待」	
	演者：中山田 真吾（産業医科大学医学部 第1内科学講座）
	共催：サンド株式会社

9:40 ~ 10:20	一般演題6 リウマチ性疾患・その他2
	座長：折口 智樹（長崎大学医学部保健学科） 小野 伸之（福岡市民病院 リウマチ・膠原病内科）

O6-1 生物学的製剤投与目的の短期入院中に SARAH エクササイズ・プログラムを行った関節リウマチ患者の臨床的検討
○三浦梨華¹⁾、安部大我¹⁾、清永恭弘²⁾、吉田大史²⁾、安部 佑²⁾、上園亮太¹⁾、
安藤綾花¹⁾、原尻 豊¹⁾、今澤良精¹⁾、石井宏治²⁾
大分赤十字病院リハビリテーション科¹⁾、大分赤十字病院リウマチ科²⁾

O6-2 関節リウマチ患者の口腔保健行動に対する自己効力感の実態
○浜崎美和¹⁾、堀川新二^{1,2)}、松浦江美¹⁾、折口智樹¹⁾
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学系¹⁾、聖マリア学院大学²⁾

O6-3 関節リウマチ患者における RAPID3 と倦怠感・睡眠・心理症状の関連解析
○日高利彦¹⁾、橋場弥生¹⁾、日高伸彦¹⁾、久保和義²⁾、泉 倫子³⁾、今村真理³⁾、
黒木喜美子³⁾、松岡 篤⁴⁾、黒田 宏⁴⁾
宮崎善仁会病院 リウマチセンター¹⁾、市民の森クリニック²⁾、宮崎善仁会病院 看護課³⁾、
宮崎善仁会病院 整形外科⁴⁾

O6-4 膜原病に伴う間質性肺疾患に対するニンテダニブの有効性と継続率の検討
○前田 翼、丸山暁人、才田正義、小松実樹也、小峯豪心、堺真梨子、竹山悠希子、
赤星光輝
佐賀大学医学部附属病院 膜原病・リウマチ内科

O6-5 肺動脈性肺高血圧症スクリーニングにおける心エコー実施状況と有用性の評価
○丸山暁人、才田正義、小松実樹也、小峯豪心、前田 翼、堺真梨子、竹山悠希子、
赤星光輝
佐賀大学医学部附属病院 膜原病・リウマチ内科

11:00～11:40 一般演題8 関節リウマチ・その他

座長：都留 智巳 (医療法人相生会ピースクリニック)

玉井 慎美 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 リウマチ・膠原病内
科学分野)

O8-1 関節リウマチにおける治療開始時および治療早期の関節超音波所見と骨破壊進行
との関連

○原 万怜、古賀智裕、古藤世梨奈、内田智久、遠藤友志郎、清水俊匡、高谷亜由子、
福井翔一、川尻真也、川上 純
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科先進予防医学共同専攻

O8-2 分子標的薬導入パス入院中の関節リウマチ(RA)患者に対するリハビリテーション介入の実態とその影響

○古庄瑠香^{1,2,3,4)}、久保智史²⁾、上野匡庸²⁾、藤丸 綾¹⁾、菊田倫子¹⁾、木村 麗¹⁾、
高杉望未¹⁾、田中沙季¹⁾、田中香鈴¹⁾、蜂須賀明子³⁾、堀 諒子³⁾、濱田 学⁴⁾、
辻野千尋⁴⁾、伊藤博子¹⁾、佐伯 覚³⁾、中山田真吾²⁾
産業医科大学病院 看護部¹⁾、産業医科大学医学部 第1内科学講座²⁾、
産業医科大学医学部 リハビリテーション医学講座³⁾、産業医科大学病院 リハビリテーション部⁴⁾

O8-3 Methotrexate 及び Etanercept 療法中にリンパ過形成を伴う小結節性胸腺癌を
認めた関節リウマチの1例

○鈴木貴久¹⁾、谷川 舞¹⁾、辻 創介¹⁾、川上 純^{1,2)}
日本赤十字社長崎原爆病院 リウマチ膠原病内科¹⁾、長崎大学病院 第一内科²⁾

O8-4 定期接種開始後、免疫抑制剤投与中に弱毒化帯状疱疹ワクチン(生ワクチン)が
接種された関節リウマチ2症例

○平岡 彩¹⁾、大坪秀雄²⁾、竹崎久美¹⁾、鵜木彰子¹⁾、榮樂隆一²⁾、上原夕季²⁾、
上林山小百合¹⁾、砂原伸彦²⁾、赤池章吾²⁾
日本赤十字社鹿児島赤十字病院 看護部(外来)¹⁾、
日本赤十字社鹿児島赤十字病院 リウマチ・膠原病センター²⁾

O8-5 皮膚病変を呈したMPO-ANCA陽性関節リウマチの2症例：RA関連血管炎と
ANCA関連血管炎合併との鑑別

○松木泰憲¹⁾、本多靖洋²⁾、中村 正³⁾
桜十字八代リハビリテーション病院 内科・リウマチ科¹⁾、本多医院 リウマチ科²⁾、
桜十字病院 リウマチ膠原病内科³⁾

12:30～13:30 ランチョンセミナー6

座長：藤川 敬太（独立行政法人 地域医療機能推進機構 諫早総合病院 リウマチ科）

「有効性安全性の最適化を考慮した全身性エリテマトーデス /
ループス腎炎の治療戦略」

演者：梅田 雅孝（長崎大学病院 医療教育開発センター 長崎医療人育成室
(N-MEC) 済生会長崎病院支部／長崎大学大学院医歯薬学総合研究科先進予防医学共同専攻リウマチ・膠原病内科学分野）

「ループス腎炎の治療戦略」

演者：久保 智史（産業医科大学医学部 第1内科学講座）

共催：大塚製薬株式会社

第4会場 (1F 会議室 107)

9:40～10:28 一般演題7 関節リウマチ・治療

座長：潮平 芳樹（新健幸クリニック）

吉澤 誠司（浜の町病院リウマチ・膠原病内科）

O7-1 実臨床での関節リウマチに対するメトトレキサート皮下投与切り替えの有効性

○船田将史¹⁾、久保智史¹⁾、宮崎佑介¹⁾、宮川一平^{1,2)}、田中宏明¹⁾、轟 泰幸^{1,2)}、
神田友梨恵¹⁾、上野匡庸¹⁾、永安 敦¹⁾、神田龍一郎¹⁾、藤田悠哉¹⁾、有富貴史¹⁾、
酒井秀典¹⁾、田中良哉^{1,2)}、中山田真吾¹⁾

産業医科大学 医学部 第1内科学講座¹⁾、産業医科大学 医学部 分子標的治療内科学講座²⁾

O7-2 Phase2治療におけるRF高値と一次無効との関連：薬剤系統別検討

○吉玉珠美¹⁾、海江田智絵^{1,2)}、赤池章吾^{1,2)}、吉玉健人^{1,3)}
霧島リウマチ膠原病クリニック¹⁾、鹿児島赤十字病院²⁾、NHO九州医療センター³⁾

O7-3 サリルマブを導入した関節リウマチ症例の長期使用評価

○日高伸彦¹⁾、橋場弥生¹⁾、久保和義²⁾、松岡 篤³⁾、黒田 宏³⁾、日高利彦¹⁾
宮崎善仁会病院 リウマチ科¹⁾、市民の森クリニック²⁾、宮崎善仁会病院 整形外科³⁾

O7-4 JAK阻害剤4剤(TOF・BAR・UPA・FIL)の2年間の有効性・安全性の比較：FIRSTレジストリを用いた後ろ向き研究

○園本格士朗^{1,2)}、中山田真吾²⁾、酒井秀典²⁾、上野匡庸²⁾、田中宏明²⁾、永安 敦²⁾、
有富貴文²⁾、神田龍一郎²⁾、藤田悠哉²⁾、神田友梨恵²⁾、轟 泰幸^{2,3)}、山口絢子²⁾、
宮川一平^{2,3)}、久保智史²⁾、田中良哉^{2,3)}
産業医科大学産業保健学部看護学科成人・老年看護学¹⁾、産業医科大学医学部第1内科学²⁾、
産業医科大学医学部分子標的治療内科学³⁾

O7-5 当院におけるオゾラリズマブを導入した関節リウマチ患者の臨床経過についての検討

○重橋 隆¹⁾、古藤世梨奈¹⁾、小島加奈子¹⁾、高谷亜由子²⁾、荒牧俊幸¹⁾、寺田 醫¹⁾、
岩本直樹²⁾、江口勝美¹⁾、植木幸孝¹⁾、川上 純²⁾
医療法人財団白十字会 佐世保中央病院 リウマチ膠原病センター¹⁾、
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科先進予防医学共同専攻 リウマチ・膠原病内科学分野²⁾

O7-6 バイオ製剤時代におけるリウマチ治療による関節破壊長期抑制効果

○森 俊輔¹⁾、岡田覚丈²⁾、清水俊匡³⁾、高谷亜由子⁴⁾、古賀智裕⁵⁾
NHO熊本再春医療センター¹⁾、NHO長崎医療センター²⁾、長崎大学病院臨床研究センター³⁾、
長崎大学公衆衛生⁴⁾、長崎大学第一内科⁵⁾

11:00～11:48 一般演題9 IgG4関連疾患・キャッスルマン病・TAFRO症候群

座長：木本 泰孝（九州大学病院 免疫・膠原病・感染症内科）

住吉 玲美（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 リウマチ・膠原病内
科学分野）

O9-1 冠動脈周囲炎と心外膜炎を合併した IgG4 関連疾患の 1 例

○首藤航太¹⁾、尾崎貴士¹⁾、児玉尚吾¹⁾、河島毅之²⁾、田村大輔¹⁾、新貝祐太¹⁾、
梅木達仁¹⁾、安倍いとみ¹⁾、森山かおり¹⁾、福田顕弘¹⁾、石井宏治³⁾、駄阿 勉⁴⁾、
宮本伸二²⁾、柴田洋孝¹⁾

大分大学医学部 内分泌代謝・膠原病・腎臓内科学講座¹⁾、大分大学医学部 心臓血管外科学講座²⁾、
大分赤十字病院 リウマチ科³⁾、大分大学医学部 診断病理学講座⁴⁾

O9-2 切迫破裂を契機に診断された IgG4 関連炎症性腹部大動脈瘤の一例

○長岡俊介、堀田幸里、石松光紗、坂田康明、宮川英子、今田千晴、岩倉未香子、平田真哉、
安永純一朗
熊本大学病院 膜原病内科

O9-3 後腹膜線維症を疑われた症例の臨床的検討

○中村真隆、石田素子、増田 徹、田中孝典、吉玉健人、今井絵利華、高濱宗一郎、
中嶋恵理子、南 留美、宮村知也
NHO 九州医療センター 膜原病内科

O9-4 特発性多中心性キャッスルマン病におけるフィルゴチニブとトシリズマブのサイ
トカインプロファイルへの影響

○福井翔一^{1,2)}、住吉玲美^{1,2)}、古賀智裕¹⁾、細萱直希²⁾、川上 純¹⁾
長崎大学病院リウマチ膜原病内科¹⁾、長崎大学病院臨床研究センター²⁾

O9-5 バリシチニブ併用が有効であった TAFRO 症候群の 2 例

○児玉尚吾¹⁾、尾崎貴士¹⁾、首藤航太¹⁾、新貝祐太¹⁾、田村大輔¹⁾、梅木達仁¹⁾、
安倍いとみ¹⁾、森山かおり¹⁾、福田顕弘¹⁾、石井宏治²⁾、柴田洋孝¹⁾
大分大学医学部 内分泌代謝・膠原病・腎臓内科学講座¹⁾、大分赤十字病院²⁾

O9-6 難治性血小板減少に対してリツキシマブが奏功した TAFRO 症候群の一例

○齋藤智晴¹⁾、甲斐達也¹⁾、中山恭兵¹⁾、藤本 翔²⁾、西村直矢¹⁾、桑原綾子¹⁾、
綾野雅宏¹⁾、木本泰孝¹⁾、小野伸之³⁾、新納宏昭²⁾
九州大学病院 免疫・膠原病・感染症内科¹⁾、九州大学大学院医学研究院 医学教育学講座²⁾、
福岡市民病院 リウマチ・膜原病内科³⁾